



藤本 みのる 通信

Vol 366

2020年12月16日発行

大月市議会議員



自宅 大月市猿橋町小篠 8 5 3

電話/FAX 0 5 5 4 - 5 6 - 7 2 7 2

医療の質の向上をめざして

大月市立中央病院が独立行政法人化して1年9ヶ月。今年には新型コロナウイルス感染症の対応で最前線に立つなど大変な状況の中で奮闘しています。それを知りながら、「赤字の病院はお荷物なのか」と聞かれ、言い訳しかできずモヤモヤしていた時、議員控室でセミナー案内を発見。「本格的少子高齢化社会が地域に何をもたらすのか?」「まちづくりの核、地域の重要な雇用の場としての自治体病院」「人口減少時代における地方議会の果たす意義」という言葉が飛び込んできました。大阪までは行けないので、講師の著書を取り寄せると、「そうかそうか」と膝を打ちながら一気に読了することになりました。中央病院は10月から、理事長が交代し若手の山崎医師が昇進。さらに小林市長の肝いりで「経営改善プロジェクト」が新しいコンサルのもと始められました。

「医療・福祉・健康の地域づくりの当事者として勉強し、具体的な行動をする議員がいなければ、地域医療を残すことはできない」(p202)との指摘が胸に刺さります。経営改革を「おまかせ」でなく、医療の質の向上をめざして、改めて勉強したいと思います。著書では病院医療関係者に敬意を払うことの重要性、大月市の生き残り戦略について考えさせられました。



『人口減少・地方消滅時代の自治体病院経営改革』

伊関友伸著

2019. 12. 20

ぎょうせい

著者プロフィール

1987年埼玉県庁入庁

2004年城西大学経営学部

準教授に転じ、現在教授

国・自治体の委員等を数

多く務める。議員セミナー

講師なども

【藤本みのる活動日誌】

12月 8日(火) 総務産業常任委員会(傍聴)、広報委員会

12月 9日(水) 社会文教常任委員会

12月15日(火) 本会議一般質問

12月16日(水) 実りの時間(笑いの家でのお話)